

# ふくろう新聞

<発行>  
 特別養護老人ホーム  
 淡路ふくろうの郷  
 広報委員会  
 洲本市中川原町中川原  
 28番地1  
 TEL: 0799-25-8550  
 FAX: 0799-25-8551

「おわび」ふくろう新聞の発行が送れま  
 したので、勝手ながら今回は11・12月合  
 併号とさせていただきます。今後、毎月  
 1日発行を目指してがんばりますので、よ  
 りしくお願いします。

## 第10回全聴福研に参加、入居者自身の手話で語る



▲壇上で熱く語る花房さん。

11月4、5日に開催された「全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会」略して「全聴福研」に参加するため、一泊二日の日程で入所者さん達と一緒に東京へ行ってきました。早朝から施設を出発、神戸空港から一気に東京羽田へ。空の旅は初めてという皆さんは空を飛ぶことをとても楽しみにされていました。

東京に到着してからは、移動の際に人の温かさに触れる機会が多くあり、改めて「人は助け合いながら生かされているのだな」と、「共生」の言葉を思い出しました。

さて、報告会ですが私が参加した会では「環境の変化に伴う心の変化」と題し、入所者さんがふくろうに来るまでの経緯を説明し、その中で安井さん自身が参加者の前に出て、今までの辛かったことや苦しかったこと、ふくろうの郷に来てからの生活で自分自身がどう変わって回復してきたのかお話ししてくれました。語り終え、皆さんの前で車

椅子で移動する姿を見てもらうと、場内から自然と拍手がおこっていました。

次の日には他の施設の発表を聞いて、ふくろうの郷でも参考にして、より良い対応が出来るようがんばりたいと思いました。帰りの飛行機の都合もあり、途中で退席することになって、参加者の皆さんと安井さんの交流する時間を取れなかったことが残念ではありません。



▲一生懸命伝えてくれました。

いろいろと学ばせてもらった「全聴福研」東京の二日間でした。(介護…神代)



▲島祭りやペットのお話しをされました。

全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会(全聴福研)とは22年前に行われた「いこいの村特別講座」がきっかけとなり、97年に京都と大阪の法人が主催となり第1回目が開催されました。施設の援助実践や重複聴覚障害者らの地域生活を支えるための取り組みなどについて福祉制度のあり方や問題点を整理しながら、検討と論議が活発に進められ発展してきました。

# ふくろうの郷の仙人

「芳本 茂さん」



↑ご本人お気に入りの1枚です。

桜の咲き始める3月31日、まだほとんど入所者もない淡路ふくろうの郷に新たな仲間が加わりました。

芳本茂さんです。大正13年11月26日生まれ、大阪府和泉市から来られました。

入所当初からいろんな意味でみんなの注目を浴び、驚き、楽しみをいただいています。

まず入所当日に驚かされました。「仙人のような方が来られます」と聞いていたので、楽しみにしながら当日を迎えました。

長く白い髪とヒゲ、杖を片手にゆつたりと歩く姿、まさに「仙人」でした。

次は5月のことです。本人から散髪をしたいとおっしゃられ、施設内での散髪に行きました。そこで自慢の長い髪とヒゲを切り落とされた姿に私たちは驚きました。髪を短く刈り上げ、ヒゲの無い芳本さんは若返り、ダンディさが漂っていました。



ビフォー  
▼  
アフター



10月にも5ヶ月間伸ばしたヒゲを剃り落とし、またしてもその変わり様に、驚きと楽しさをいただきました。

彼の笑顔や行動には楽しい気持ちにさせてもらえます。そして芳本さん自身も自分のペースでゆったりと楽しく健康に過ごしていただけるよう支援していきたいと思えます。

(介護…堀井)

# 11月・12月のお誕生日のみなさんです おめでとうございます！



藤本紀代さん(66歳)  
昭和16年11月8日



坂口きぬゑさん(92歳)  
大正3年 11月9日



宮本いまのさん(93歳)  
大正2年 11月3日



先山君子さん(94歳)  
大正元年 11月19日



堀越フミ子さん(72歳)  
昭和9年 11月21日



内田朝哉さん(75歳)  
昭和6年 11月12日



徳野 茂さん(74歳)  
昭和7年 11月27日



谷 信義さん(74歳)  
昭和7年 11月29日



大田弘志さん(76歳)  
昭和5年12月7日



中野チサエさん(78歳)  
昭和3年12月9日



高橋美代子さん(75歳)  
昭和6年12月15日



新居花子さん(87歳)  
大正8年12月10日

# みかん狩り

11月、数人ずつに別れて、入所者ほぼ全員参加でみかん狩りに行ってきました。天気心配な日もありましたが、「さあみかん狩りに行くぞ！」という頃には素晴らしい秋晴れになりました。少し風が肌寒いなど思っていました。日向にいますとポカポカして暑いくらいでした。

さあ、みかん狩り開始!! 木は低くて近い位置にあり、車椅子の方でも取りやすく配慮されていました。自分の手で取られ、その場で仲間と一緒に食べ「おいしい!」と、とても嬉しそうでした。外出すると開放的



になるのか? 普段は少食な方も大きなみかんを3つペロリ! 中には5つ以上食べられた方やお土産にたくさん買って帰られた方もいました。  
「甘い♥」「楽しい☆」と好評で「また行きたい」と言われました。来年もまたみんなで行きたいと思います。  
(介護・田中)



# 大漁報告!



10月11日魚住さんのお兄さんに協力を頂き、黒崎さんと勝楽さん、魚住さんと僕とで船釣りに行ってきました。

当日は雨も振る中での出発で「大丈夫かなあ、雨が強くなると中止になってしまいうなあ」との思いもありながらの出発でしたが、いざ現地に着すると、雨も小降りになっており、釣りができることに一安心。到着してすぐにつり道具を船に積み込み早々と準備を済ませいざ出発!

初めはハマチ釣りに挑戦していたのですが、なかなか釣れない。今日はつれないなあくと、あきらめムードが漂い始めた頃魚住さんのお兄さんの提案でベラ釣りに変更。しばらくすると：来た!来た!来た!海面に魚の姿が!なんだろう：ベラだ!ベラが釣れた!やった!ついに釣れた!!

その後は場所を変えながら合計10匹ぐらい釣れ、釣れたときは皆さんとても嬉しそうな表情でした。有意義な時間を過ごすことができ今後も釣り講座を活動していきたいと思っています。

(介護・久保)



# リサ女史、ふくろうの郷を訪問



10月21日(土)、県ろうあ者大会参加のために来日された、世界ろう連盟名誉理事長のリサ・カウピネン女史が淡路ふくろうの郷を訪問されました。

リサ女史は平成12年にも来日され、ふくろうの郷建設予定地や県内各地の聴覚障害者施設を視察し、洲本市長や県知事に対して、聴覚障害者のための施設の重要性を訴えられました。今回も県知事を表敬訪問した際に、障害者自身の声を聞き、障害者福祉の発展のために共に協力し合える社会を築いてほしいとの訴えをされました。入所者の方々との交流をしたリサ女史は、ふくろうの郷が開

- 12月の予定
- 12月7日 お誕生日会
  - 12月10日 淡聴協クリスマス会
  - 12月24日 ふくろうの郷クリスマス会
  - 12月22日 しめ縄作り
  - 12月28日 門松作り

寄付者紹介

世界ろう連盟名誉理事長リサ・カウピネン女史より御寄付を頂きました。淡路ふくろうの郷ありがとうプレートにお名前を掲載させていただきました。



所できたことを心から喜ばれていました。入所者の方々も前日から手作りの横断幕を作って大歓迎しました。とても気さくに接してくださるリサ女史にみんな大喜びでした。  
(事務…是井)

## ～淡路ふくろうの郷オリジナルグッズ紹介～

### 2007年ふくろうカレンダー



淡路ふくろうの郷入所者が描かれた絵が印刷されています。たくさんの方々のお家に貼ってもらって、毎日ふくろうにいる私達を見てほしいと願って描きました。両サイドには指文字が描かれています。是非、お買い求めください。 <価格 500円>

